



独立行政法人 国立病院機構
嬉野医療センター附属看護学校

学校案内



教育理念

高い看護実践能力と専門職としての自律

本校の教育は、豊かな人間性を養い、あらゆる健康段階にある人間を統合的に理解し、科学的思考に裏付けられた看護実践能力を育成することにある。さらに専門職として、ものごとを主体的に考え、自分の規範（価値）に従って行動できる自律した看護師を育成することにある。

教育目的

人間を尊重し、看護に必要な看護実践能力を身につけ、社会に貢献できる自律した人材を育成する。

期待する卒業生像

自己を理解し、他者を尊重し、人間関係を深める事ができる

あらゆる対象の健康水準に応じて必要な理論、技術、態度を用いて看護問題を抽出し、科学的、系統的に看護実践できる

保健・医療・福祉チームの一員として倫理的・社会的責任と義務を認識した行動がとれる

変化する社会（国内外）に対して、継続的に自己学習できる態度を身につける

看護師をめざす皆さんに

独立行政法人国立病院機構
嬉野医療センター附属看護学校長

力武 一久



本校は、1953年に国立病院附属高等看護学院として開校以来、2600人余りの優れた看護師を社会に送り出してきました。

コロナ禍や世界情勢などの影響もあり、医療現場は日々変化し、求められる看護の形も多様化しています。こうした時代の中で、私たちは、確かな知識と技術、そして患者さん一人ひとりに誠実に向き合う「人間力」を兼ね備えた看護師の育成を目指しています。本校では、充実した教育体制のもと、経験豊かな教員陣が、皆さんの成長を丁寧に支えてまいります。また、母体病院である嬉野医療センターを中心とした豊富な実習も、本校の大きな強みです。看護の道は決して平坦ではありませんが、その分、得られる喜びややりがいも大きなものです。「誰かの力になりたい」「命に向き合う仕事がしたい」という皆さんの志を、ぜひ本校で実現してください。

皆さんと共に学べる日を、教職員一同、心よりお待ちしております。



カリキュラム3つの特徴

臨床判断を
行うための
基礎的能力の育成

情報通信技術
(ICT)の活用

地域における
多様な場での
切れ目のない看護

嬉野医療センター附属看護学校
ホームページ内のカリキュラム
をご覧ください。



詳細は
コチラ

魅力ある立地条件

自然豊かな環境 /
温泉でゆつたら、
お茶でほっくり、と癒されます。

嬉野温泉駅 /
すぐそば

通学の
利便性アップ。

学校の特徴

歴史と実績

- ・1953 (昭和28) 年4月 開校
- ・2023 (令和5) 年 開学70周年
- ・2025 (令和7) 年3月現在
卒業生2,639人

2019年
新校舎に移転



世界で活躍する先輩

徳永瑞子 先生

徳永瑞子先生は、本校を卒業後、九州大学医学部附属助産学校にて助産師免許を取得。1971年ザイール共和国で医療活動に従事。その活躍は「ブサマカシー若き助産婦のアフリカ熱中記」としてドラマ化され、「読売女性ヒューマン・ドキュメント大賞」受賞。1991年には、「NGOアフリカ友の会」を設立し、現在も代表としてアフリカの人々に対する支援活動に積極的に取り組んでおられます。2005年には国際赤十字から栄誉ある「フローレンス・ナイチンゲール記章」を受章されました。その他、情熱大陸(2004年)に出演、その他著書多数。在校生も「NGOアフリカ友の会」に協力するなど繋がりを大切にしています。

学生自治会は、徳永先生の活動協力として、中央アフリカ共和国の人々が手作りをした物品の販売など、自立支援のボランティアに取り組んでいます。

臨床や教育分野で
活躍する先輩方



【学生寮】 本校の学生寮は、学生が勉学に専念できるよう住居を提供するとともに、学生にその共同生活を通じて相互の理解を深め、かつ秩序を重んずる自主的な態度を身につけることを目的としています。

■玄関はオートロックです。
■個室でプライバシーも
守られます。
■家具・家電付き。

- 定員: 80名完全個室(男女可)
- 契約: 原則1年毎の更新申請制
- 寮費: 月額26,000円(共益費込)
- 光熱費: 実費



室内

ミニキッチン

- 入寮の条件
1. 入寮を希望する者
 2. 通学が困難な者(学校から半径18km以上が優先)
 3. 学生寮の規則を遵守し、学業に専念できる者
 4. 日常生活が自立している者
- ※入寮できる部屋に対し入寮者が多い場合は選考となります。

※学生寮入寮の際は、学校が指定する。総合補償制度と家財保険に加入することが条件です。
※退去時の施設整備(ハウスクリーニング)は実費です。

恵まれた教育環境

病院
HP



- 病院理念「命と心をつなぐ医療」に基づき「Plus1の看護」を実践する母体病院「嬉野医療センター」で看護実践を学びます。
- 看護部(実習指導者)と連携した実習指導体制が整っています。
- 実習指導者講習会などの実習指導に関する研修修了ナースが実習をサポートしています。
- 健康診断や予防接種などの健康管理、健康管理医や看護教員、スクールカウンセラーによる健康相談など母体病院と連携してサポートしています。



経験豊富な看護教員や実習指導者による実習指導

臨地実習

臨地実習では、臨床推論や看護技術をもとに、看護の対象者の健康ニーズに即した個性のある看護を提供するため、実習指導者や看護教員の指導・助言、多職種との連携協力のもと看護実践を学びます。



実習指導者のみならず医師やスタッフも参加したカンファレンスを行い、受け持ち患者の看護計画を検討します。



実習指導者には、看護計画や看護技術を丁寧に指導してもらいます。

豊かな講師陣

形態機能学講義の様子

- 大学教授陣による学際的な講義・演習、最新の専門知識・技術、経験を有する医療・福祉・保健チームによる実践的な講義・演習を学ぶことができます。



言語聴覚士による講義・
食事介助演習の様子



英会話講義の様子

学習に集中できる環境

- ICT教育を円滑にするfreeWi-Fiなどの学習環境が整備されています。
- 多様な学びを支援する教材や教員、スキルアップラボなどの設備があります。



iPad

看護技術が熟達するまで学び続けるナースングプラクティス

プラクティス1

学生同士で行う演習の様子をiPadに記録し、見直ししながら繰り返し練習します。



プラクティス2

看護教員の看護技術デモンストレーションをiPadに記録し、再生しながら学習ポイントを理解。その後、看護教員の指導・助言を受けながら看護技術の修得を目指し、トコトン繰り返し練習します。



プラクティス3

スキルアップラボなどの演習室で、実習指導者と看護教員とともに臨床推論や実践的な看護技術シミュレーションをしながら学び合います。

年間スケジュール

4月

- ・入学式
- ・宿泊研修 (1年次)
- ・スポーツ大会
- ・防災訓練



▲入学式

5月

- ・ナイチンゲール生誕祭
- ・講師会議



▲スポーツ大会

6月

- ・解剖見学 (2年次)
- ・オープンキャンパス



▲オープンキャンパス

7月

- ・オープンキャンパス



8月

- ・夏休み



▲ナイチンゲール生誕祭

9月



10月

- ・嬉看祭
- ・誓いの式
- ・災害訓練
- ・防災訓練



▲誓いの式

11月

- ・推薦入試
- ・総合選抜型入試



▲嬉看祭

12月

- ・クリスマスコンサート
- ・冬休み



▲災害訓練



▲クリスマスコンサート

1月

- ・一般・社会人入試 (一次)



2月

- ・一般・社会人入試 (二次)
- ・看護師国家試験 (3年次)



▲防災訓練



▲卒業式

3月

- ・卒業式
- ・謝恩会
- ・春休み
- ・オープンキャンパス

【ボランティア活動】

地域貢献として、学生自らボランティア活動を行っています。



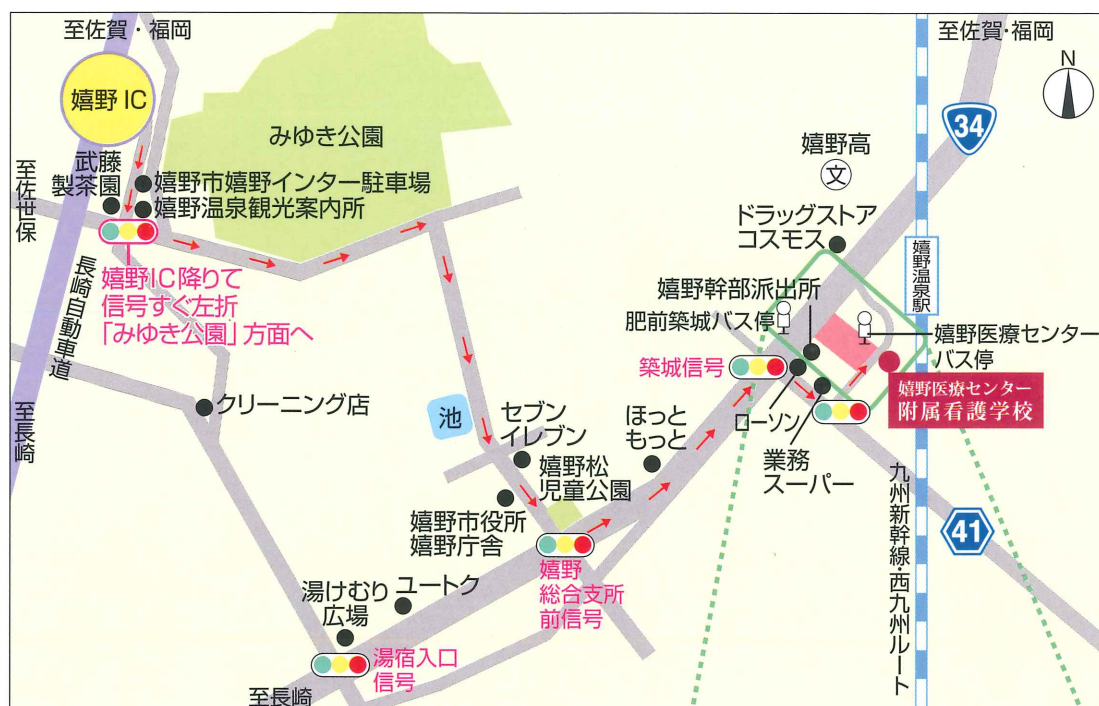
SAGA2024 ボランティア
国民スポーツ大会で参加者の誘導、案内などの手伝いをしました。



こども食堂



ナイチンゲール平和の灯運動
広島原爆の残り火をナイチンゲールの灯火として平和の思いを胸に灯をつなぎました。



ACCESS

【JR 武雄温泉駅より来校の場合】

○JR 西九州新幹線利用の場合

『武雄温泉駅』より、【長崎行き】へ乗車、『嬉野温泉駅』にて下車、徒歩2分

○JR 九州バス利用の場合

バス停『武雄温泉駅（南口）』より、JR九州バス【彼杵駅行き】または【嬉野温泉バスセンター行き】へ乗車、『嬉野医療センター』にて下車、またはバス停『嬉野温泉駅』にて下車、徒歩2分

【JR 長崎本線：肥前鹿島駅より来校の場合】

『肥前鹿島駅』下車、『肥前鹿島駅前』より、祐徳バス【湯の田行き】へ乗車、『嬉野医療センター』にて下車、またはバス停『嬉野温泉駅』にて下車、徒歩2分

【JR 大村線：彼杵駅より来校の場合】

バス停『彼杵駅』よりJR九州バス【武雄温泉駅行き】または【武雄競輪場行き】へ乗車、『嬉野医療センター』にて下車、またはバス停『嬉野温泉駅』にて下車、徒歩2分

【JR 佐世保線：佐世保駅より来校の場合】

バス停『佐世保駅前』より、西肥バス【E7：嬉野医療センター行き】へ乗車、『嬉野医療センター』にて下車。バス停『佐世保駅前』より、西肥バス【E1：嬉野行き】へ乗車、『嬉野バスセンター』にて乗り換え、『嬉野医療センター』にて下車、またはバス停『嬉野温泉駅』にて下車、徒歩2分



独立行政法人 国立病院機構

嬉野医療センター附属看護学校

〒843-0301 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿甲4768-1

TEL:0954-42-0659 FAX:0954-20-2165

e-mail:609-urekan@mail.hosp.go.jp

<https://ureshino.hosp.go.jp/kango/index.html>

看護学校
トップページ

